

平成26年度 弘前市総合計画審議会議事概要 (第2回)			
日 時	平成27年1月23日 (金) 14時30分～16時30分		
場 所	弘前図書館 2階 視聴覚室	傍聴者	0人
出 席 者	委 員 (17人)	檜楨会長、村松委員、生島委員、阿部委員、西舘委員、中村委員、淀野委員、島委員、清野委員、成田委員、工藤委員、北村委員、鈴木委員、福士委員、山本委員、三上委員、名越委員	
	事務局 (4人)	行政経営課長、行政経営課長補佐、行政経営課主幹、行政経営課総括主査	
	その他		
会 議 概 要			
1 開会			
2 議事			
(1) 弘前市経営計画の改定案について			
○ 資料1、2に基づき「経営計画第3章」と「計画事業一覧(新規、廃止等)」について事務局から説明した。			
○ 主な質疑等の内容は以下のとおり。			
・婚活の応援について、成果はどうだったのか。			
保育について、保育所を経営しているが、保育士を探すのが大変である。保育士の待遇も限られた補助金の中でしかできず、保育施設はつくれても、保育士を賄えない。婚活も大切であるが、今の保育事業に対する手厚い補助が欲しい。結婚式が婚活会場、実質になっている。敢えて、市が取り組まなくてもいいのではないか。			
⇒婚活の成果は、農業委員会の取組では、2組、今年もう一組という話は聞いている。出愛い巡り合いについては、今年始めたばかりなので、成婚と言う形が出ていないがサポーター登録が100人ほどいる。			
・保育士についても、若い保育士を東京の保育所から求人が来て、多くの人数が流出している現状でもある。地元で育った学生が、流出するもとである。			
⇒国の創生の中で、地方に人の流れを創るという取り組みの中で、市としての総合戦略を作っていくのでその中でそういったことを考えていく必要があると思う。			

・高齢者福祉の充実について、市の「高齢者保健福祉計画」介護保険等に関わるものですが、それとの関わりはどうか。それから、資料の継続事業については、これまでどおり、同じ予算で、同じように実施されるのかお伺いしたい。

⇒高齢者福祉計画とは当然整合を図っているものですが、その計画全てが経営計画に落とし込まれるというものではない。施策に効果的な主な事業として、経営計画をつくっている。ただ、そういう意味では、市の取組としては、施策に効果的な事業等々として、整合を図られているものと考えている。継続事業については、予算的な部分は全体を見てからということになりますが、すべて同額ということではない。ただ、概ね同じような予算で、同じような取り組みをするのではなかったかなと記憶している。

・ある介護保険の権威のようなかたが、弘前市は介護保険料が日本一になるといわれた。介護保険があまり高くないように研究をしていただければと思う。

⇒介護保険については、弘前市は高齢者が多く、介護の認定率が高い。また、介護サービスを満額使用するなどといった、構造的な問題も多くある。そのために、ケアプランの点検等を行っているが、できれば上げたくないという思いの下、さまざま取り組んでいる状況である。

・以前西日本から介護施設を転院してきた人がいたが、こっちのほうが良いということである。経費も安くて、青白い顔のひとが、血色がよくなった。青森では、介護の就労人口が沢山いて、就職の大きな受け皿になっている。地産地消でもあり、安く美味しいものを提供している。だから、介護施設の受け入れをしてもらおうという考えかたもあるのではないか。介護も弘前が伸びていく要素の一つではないか。

⇒自立支援介護の推進とありますが、市内の自立支援に取り組んでいる施設の取組について研究会を立ち上げ、普及させられるようにしたいと考えている。そういった、介護度を下げて、自ら生活していけるようになるための取組を始めるものである。多少時間がかかるかもしれないが、市で働きかけていきたいと思っている。

・消防団加入促進の廃止とあるが、消防団サポート企業の効果があまりないということであるが、その点教えて欲しい。

⇒消防団員の資格を見せると飲食が5%割引になるというものであるが、それについてはあまり直接的に加入促進につながるものではないということが分かったため、消防団の分団定員を弾力的に運営することで、対応し、この事業につ

いては、休止ということで新たな加入促進を検討し直すという意味である。

・介護が必要な方のことはここに見えているが、介助する方のための施策はないのか。

地域防災力の強化について、行政では機器の購入費というものについては、補助があるが、それ以降の維持管理費は町会でということになっている。町会によっては規模が大小あるので、小さいところでは運営までできない所もあるかと思う。よって、その辺の手当てをしてもらいたい。

⇒自立支援を推進する上で、在宅介護についても事業として、在宅介護の研修というものについても、組み込まれている。

自主防災組織については、維持管理については確かでない、しかし、自主防災組織の運営に関してはマニュアル化しているので、お金のかからないような形で、維持していただければと思っている。

・カラス対策の項目については、本当に成果が出ているのか。

⇒カラス対策については、やはり餌断ちであると考えているので、そういったことも併せて、ごみ処理基本計画の中でも毎戸回収の検討をして成果をあげていきたい。

・欧州販路開拓事業については、今の国の動きというものがあるが、クールジャパンということであれば、シードルではなく、日本酒ではないか。シードル事業はもともとあるので、一括してその事業でやればいい。やはり、弘前としての地場の産業を持ってきたほうが良い。インバウンドに来る人にはシードルを売り込んでいいが、欧州へ販売するというのであれば、日本酒でいいということである。

⇒市側で、少し整理していただくということによろしいでしょうか。

・斜里町中学生ということですが、歴史的な所を知らないから学んでもらうということであるが、まず、地元のことを知ってもらうということが必要ではないか。子育て支援課や、公民館ではあるが、教育委員会での施策が少ないように見える。これから出てくればいいのではないかと思う。

・移住2地域居住の推進について、多様性を受け入れる気風の醸成には入らないとおもう。重点プロジェクトの中にあるし、まちづくりの都市環境に入るのではないか。再度ご検討いただいたほうが良い。戦略推進システムや多様性についても理解できない部分である。

⇒人口減少対策はここ1ヶ月でかなり動きがあるので、もう一度宿題として考

えていただいたほうが良いかとも思います。

・関連して、弘前市まちひとしごと創生本部を設置しているといことですが、その中で、人口減少対策ということをやるといことですか？その辺の説明があったほうが、理解が進むと思うのですが。

⇒地方版の創生戦略を創るのですが、当市では、人口減少対策に取り組んでいるので今ある事業等を組み直しつつ、この計画をベースに取り組んでいくことである。この移住に係る事業についても、重点プロジェクトにぶら下げていますが、各分野ではどこにぶら下げるかということについては、非常に難しく、こういった形でぶら下げている状況です。ですので、すわりのいい形で検討をしたいと思う。

(2) 答申について

○事務局より、答申について説明。

⇒事務局の説明に対し、委員からの質問・意見等なし。

(3) その他

○事務局より、今後のスケジュールについて説明。

3 閉会